

- 〔復習〕 ・ああ、月の世界へ行ってみたい。
・政府にはもっと国民の声を聞いてほしいと思う。

1 ~たいものだ・~てほしいものだ

⇒~したい・~てほしいと強く思う。

- ①将来はこんな家に住みたいものだなあ。
②そんなにきれいな絵なら、ぜひ一度見てみたいものです。
③今度こそ実験が成功してほしいものだ。
④国には税金の無駄遣いをしないでほしいものだ。

㊦ 動 まず +たいものだ

㊦ て形/ない形+で +ほしいものだ

⚠ 心からの希望を言う場合や一般的な希望として言う場合に使う。具体的な希望や要求を直接言うときには使わない。

2 ~ものだ

→23課-①、24課-③

A⇒~という過去の習慣が懐かしい。

- ①子供のころは、夏になるとこの川で泳いだものです。
②祖父が生きていたころは、毎年お正月になると親戚が集まったものだ。
③若いときはよくコンサートに行ったものだが、最近では行かなくなった。

㊦ 動 た形 +ものだ

⚠ 1度だけのことには使わない。

B⇒~ということを非常に強く感じる・感心する・あきれる。

- ④卒業してからもう10年か。時間が過ぎるのは早いものだ。
⑤図書館に行かなくてもインターネットでいろんな情報が集められる。便利な世の中になったものだ。
⑥辞書の中のこんな小さな間違いをよく見つけられたものだ。

㊦ 動・形 普通形 (ナ形 だ・な) +ものだ

⚠ 話者の意志的な行為には使わない。話者の主観を表す形容詞や、副詞(よく・ずいぶんなど)と一緒に使うことが多い。

3 ~ないもの(だろう)か

⇒実現は難しいが、何とかして~ということになってほしい。

- ①どうにかして母の病気が治らないものか。
②だれかこの仕事を引き受けてくれる人はいないものだろうか。
③この時計はちょっと高すぎる。どこかでもっと安く買えないものかな。

㊦ 動 ない形 +もの(だろう)か

⚠ 可能動詞や話者の意志が入らない動詞につく。

4 ~ものがある

⇒~という感じがある。

- ①毎日2時間もかけて通勤するのは、かなりつらいものがある。
②ここまで完成しているのにあきらめなければならないなんて、残念なものがある。
③一方的に仕事を辞めさせられた。どうしても納得できないものがある。

㊦ 動・形 普通形現在 (ナ形 だ・な) +ものがある

⚠ 話者の感想を表す言葉につく。

5 ~ことだ

→24課-②

⇒本当に~だ。(驚き・感動・皮肉などを表す。)

- ①大きくなりすぎたからとペットを簡単に捨てる人がある。なんとひどいことだ。
②困ったとき助けてくれる友達がいます。ありがたいことだ。
③いくら電話しても出ない。全く困ったことだ。

㊦ イ形 い・ナ形 な +ことだ

⚠ 話者の主観を表す形容詞につく。③のように形容詞のような働きをする動詞の「た形」も使われる。

6 ~ことだろう・~ことか

⇒非常に多く~する(ある)・非常に~と感じる。 書き言葉

- ①この城を完成させるのに、いったい何年かかったことだろう。
②「無駄遣いをするな」と子供にもう何回注意したことか。
③離れて暮らしているあなたのことを、ご両親はどんなに心配していることか。

㊦ 疑問詞+普通形 (ナ形 だ・な/である・名 だ・である) +ことだろう・ことか

⚠ 程度を表す疑問詞(どんなに・何回など)や「なんと・いったい」と一緒に使う。

1

- 1 すみません、来週の旅行なんです、用事ができたので()が。
 a キャンセルしたいんです b キャンセルしたいものです
 c キャンセルしてほしいものです
- 2 彼はこの問題に関係ないのだから、()ものだ。
 a 口をはさみたくない b 口をはさまないでほしい c 口をはさまないでいたい
- 3 ()を食べてみたいものだ。
 a あ、このおいしそうな料理 b 今日はユリさんのうちで手料理 c 一度、その珍しい魚

2

- 1 国にいたころ()家族でハイキングに行ったものです。
 a 一度 b よく c いつか
- 2 昔は元気でしたから、頑張って()ものです。
 a 高い山に登った b 家を買った c 試験に合格した
- 3 この人は変わった種類のトイレットペーパーを集めているのか。()ものだ。
 a いろんな人がいる b 変な人の c 一般には理解されない
- 4 ラーメンを3杯も()食べられるものだ。
 a そんなに b どうして c よく

3

- 1 何とかしてこの犬の飼い主を()ものだろうか。
 a 見つけてあげたい b 見つけてあげない c 見つけてあげられない
- 2 何かもっと簡単に日本語が上手になる方法は()ものか。
 a ある b ない c わからない
- 3 もっと給料が高くて楽な仕事は()ものか。
 a 見つからない b 見つけない c 見つけたい
- 4 朝のラッシュは何か()ものか。
 a ならない b しない c なれない

4

- 1 10代の心は微妙だ。この時期の子供の扱いはなかなか()ものがある。
 a 問題の b 難しい c わからなかった
- 2 彼の音楽は実に素晴らしい。()ものがある。
 a 人の心が動く b 人の心に動かされる c 人の心を動かす

5

- 1 使っていない紙をこんなに捨てているなんて、()ことだ。
 a もったいない b だれかが捨てた c 無駄遣いの
- 2 定年後は夫婦で海外旅行ですか。まあ、それは()ことですね。
 a 同じ趣味の b けっこうな c お金が必要な
- 3 家に忘れ物をして駅まで2往復ですか。それは()ことです。
 a 急いだ b 疲れた c ご苦労な
- 4 事故にあった全員の命が助かった。本当に()ことだ。
 a うれしい b 喜んだ c 命は大切な

6

- 1 この曲は素晴らしい。今まで()聞いたことか。
 a 何度か b 何度も c 何度
- 2 何年也会っていない友達を突然訪ねていたら、()驚くことだろう。
 a なんと b どんなに c いくら
- 3 ついに長年の夢がかなって、彼女はどれほど()ことだろう。
 a 喜びの b よかった c うれしかった

1~6

- 1 年をとっても夢を()。
 a 持ち続けていたいことだ b 持ち続けていたいものだ c 持ち続けていたいことか
- 2 いつまでも小さいことでけんかしているのは、実に()。
 a くだらないことだ b くだらないことだろう c くだらないものだ
- 3 最後の最後に逆転負けしたなんて、どれほど()。
 a 悔しいことか b 悔しいものか c 悔しいものがある
- 4 迷惑をかけてしまった人たちのことを考えると、今でも()。
 a 心苦しいものだ b 心苦しいことだ c 心苦しいものがある
- 5 よくまあ、こんな細かい彫刻が()。
 a できることか b できるものだ c できないものか

つぎ ぶん 次の文の()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選えらびなさい。

- [1] それ、睡眠時間すいみんを()やるべき仕事なんですか。
 1 削けずってまで 2 削けずってさえ
 3 削けずってからして 4 削けずってなどして
- [2] こんな不注意ふちういな事故じこは二度と()と心こころに決きめた。
 1 起こおこるまい 2 起こおこすまい
 3 起こおこりかねない 4 起こおこしかねない
- [3] 真実しんじつを知しれば彼女かのじょが悲かなしむのはわかっていわかるが、うそをつくことはでききない。本当ほんとうのことを()だろう。
 1 話はなさないというわけでもない 2 話はなさないわけがない
 3 話はなさないわけではない 4 話はなさないわけにいかない
- [4] 朝あさから何も食べていないので、おなかなかが()。今いますぐ何か食べたい。
 1 すいてしまったものだ 2 すいてしまったことだ
 3 すいてたまらない 4 すいてはいられない
- [5] 小川おがわさんの作る料理りょうりはおいしい()。なにしろプロなんだから。
 1 にぎまっていますよ 2 とみえますよ
 3 ことがありますよ 4 ものがありますよ
- [6] 社長のやり方やりかたを批判ひはんしようものなら、会社かいしゃを()。
 1 辞やめかねない 2 辞やめさせられかねない
 3 辞やめさせ得える 4 辞やめさせられ得えない
- [7] この子こはまだ3歳さいだから、乗車券じょうしゃけんを()。
 1 買かうべきではありませんね 2 買かうほどではありませんね
 3 買かわなくてもいいですね 4 買かわずにはいられませんね
- [8] まだたっぷり時間じかんがあつたのだから、あんなに()。
 1 急いそぐことはなかった 2 急いそぐものではなかった
 3 急いそぐはずがなかった 4 急いそぐよりほかなかった



- [9] 彼かれのちょっとした態度たいどだけで自分自分が嫌きらわれていると思うなんて、()。
 1 考えすぎるものだ 2 考えすぎというものだ
 3 考えすぎたものだ 4 考えすぎというものではない
- [10] 残念ざんねんだが、これだけ結果けっかが悪わるければ、この計画けい画は失敗しっぱいだと()。
 1 言うものだ 2 言ったところだ
 3 言わないことはない 4 言わざるを得ない
- [11] 若わかいうちにいろいろなことを経験けいけんしておく()。
 1 にすぎない 2 に越こしたことはない
 3 に違ちがいない 4 にほかならない
- [12] あんな大工だいこうには二度と修理しゅうりを()。
 1 頼たのむものですか 2 頼たのんだものですか
 3 頼たのむものがあります 4 頼たのんだことはありません
- [13] その客きやくのマナーがあまりにひどかったので、()。
 1 注意するに越こしたことはなかった 2 注意せずじまいだった
 3 注意することはなかった 4 注意せずにはいられなかった
- [14] 留学生りゅうがくせいには日本語だけでなく、日本の文化ぶんかや社会かいのことも()。
 1 学まなぶものだ 2 学まなばせるものだ
 3 学まなびたいものだ 4 学まなんでほしいものだ
- [15] 最近さいきんの科学技術かがくぎじゆつの進歩しんぽには()。
 1 驚おどろくべきことがある 2 驚おどろくというものだ
 3 驚おどろくべきものがある 4 驚おどろくというものではない

N2の文法形式には、動詞から派生してできたものが少なくありません。その文法形式を学習したことがなくても、元言葉の意味から類推することができます。

(*はここで初めて学習する文法形式)

元の動詞	文法形式	例	か課
際する	～に際して	留学に際してはいろいろお世話になりました。	1
あたる	～にあたって	開会にあたって一言ごあいさつ申し上げます。	1
わたる	～にわたって	関東地方の広い範囲にわたって初雪が降った。	4
通じる	～を通じて	インターネットを通じて世界中の情報が得られる。	4
通す	～を通して	彼は一生を通して村のために尽くした。	4
限る	～に限って	あの子に限ってそんなことをするはずがない。	5
関する	～に関して	今回の事件に関して詳しいことがわかりましたか。	7
めぐる	～をめぐる	土地の問題をめぐる両者が対立している。	7
対する	～に対して	お客様に対して丁寧な言葉を使いなさい。	7
こたえる	～にこたえて	住民の要望にこたえて自転車置き場を設置した。	7
基づく	～に基づいて	法律に基づいて裁判を行う。	8
沿う	～に沿って	プログラムに沿って発表会を行います。	8
従う	～にしたがって	気温の変化にしたがって山の景色が変わる。	9
つ連れる	～につれて	父は年をとるにつれて頑固になってきた。	9
伴う	～に伴って	地球温暖化に伴って各地で気候が変化している。	9
応じる	～に応じて	ご予算に応じてメニューをご用意いたします。	9
因る・依る・拠る	～によって	事故によって新幹線のダイヤが大きく乱れた。	16
(於く) 今は使われない	～において	⇒～の場所や分野、時期などにあることが行われる・ある状態だ。 硬い言い方 ①本日A館において就職説明会が行われる。 ②コストダウンはビジネスにおける重要な課題だ。	*
先立つ	～に先立って	⇒～の前に、それに関連する何かをする。 ①野外実験を行うに先立って現地調査をした。 ②イベントに先立つパレードは、駅前広場で行われます。	*

練習1 〇から適切な動詞を選び、適当な形にして、〇の上に書きなさい。()には助詞を書きなさい。(一つの言葉を1回だけ使います。)

A よる めぐる 際する わたる 沿う 通じる 限る 伴う

- ダム建設問題() 住民が3時間も話し合いをしている。
- この図書館のご利用() は以下のことをお守りください。
- 食生活の変化() 米の消費量が減った。
- この時計は、親子二代() 愛用しているものだ。
- あのメーカー() すぐ壊れるような製品は作らないと思う。
- 書いてある手順() 行えば、この機械の操作はそれほど難しいくない。
- 学生たちは地域の人たちとの交流() さまざまなことを学んでいる。
- 地震() 多くの家が壊れた。

B 通す 先立つ 応じる 基づく あたる こたえる 関する 対する

- この学校はキリスト教の精神() 教育が100年も続いています。
- この商品() ご質問がある方は、お問い合わせください。
- 小学校では来月の入学式() 説明会が行われた。
- 社長のやり方() 不満を持っている社員も多い。
- このいすは、お子様の成長() 高さの調節をすることができます。
- このたびのスミス氏の来日() 歓迎会が行われた。
- その作家は読者の期待() 新しい作品を次々に書いた。
- 彼は在日期间() 常に積極的に国際交流の努力をした。

B 「言う・する」を使った言い方

N2の文法形式には動詞の「言う」「する」を含むものが少なくありません。「言う」「する」は、具体的な動詞の代わりです。

- ・言う→話題に出す・意見を言うなど
- ・する→考える・判断する・仮定するなど

(*はここで初めて学習する文法形式)

	文法形式	例	課
言う	～といった	ケーキやクッキーといったお菓子が大好きだ。	10
	～といえば	あ、雪だ。雪といえば、スキー旅行はどうでしょうか。	13
	～という	畑という、ふつう広い土地を想像するだろう。	13
	～といったら	代表的な日本料理といったら、すしやてんぷらだ。	13
	～といっても	料理ができるといっても、簡単なものだけだ。	14
	～からといって	好きだからといって、そればかり食べてはいけない。	14
	～とはいいいながら	⇒～ではあるが、実際は予想されることとは違う。 ①わたしは教師(だ)とはいいいながら、生徒たちに教えられることの方が多い。 ②彼女は母親になったとはいいいながら、子育ては苦手なようだ。 ③名・普通形(ナ形)(だ)・名(だ) + とはいいいながら	*
する	～からして	この映画は題名からして怖そうだ。	4
	～としたら	無人島で過ごすとしたら、何を持っていきますか。	15
	～とすれば	京都を訪れるとすれば、桜の季節がよいと思います。	
	～とすると	彼が犯人ではないとすると、本当の犯人はだれだろう。	
	～にしても	時間がないにしても、連絡ぐらいしてほしい。	15
	～にしる	何をするにしる、心を込めて取り組みたい。	
	～にしては	この絵は子供がかいたにしてはよくかけている。	19
	～にしたら	お母さんにしたら、君のことが心配で注意するのだ。	19
	～にすれば	店にすれば、なるべく安く買い高く売りたいはずだ。	
	～からすると	⇒～から判断すると	*
	～からいうと	①性能からすると、この製品の方が断然いい。 ②医師の立場からいうと、この治療方法は勧められない。 ③名 + からいうと・からすると	

練習1 〇から適当なものを選びなさい。

A [言う]

- a とはいいいながら b といった c という d からといって e からいうと

- 男女平等が進んだ(), 日本ではまだ女性の政治家は少ない。
- 値段() コース料理のほうがお得だ。
- 暑い(), 窓を開けたまま寝るのは良くないですよ。
- 15日() 来週の水曜日ですね。
- 「はんなり」というのは京都の方言で、明るく上品() 意味だ。

B [する]

- a にしては b としたら c にしろ d からして e からすると

- この服はどうもわたしに合わない。色() わたし向きではない。
- ここは観光地() 訪れる人が少ない。
- 先生の言い方(), 今度の試験はあまり難しくなさそうだ。
- 先週ほどではない() 今週も忙しい。
- もし普通のサラリーマンになっていた(), 今ごろ課長ぐらいになっていたかもしれない。

練習2 〇から適当なものを選びなさい。

- うちの子はリスとか小鳥() 小さい動物が好きです。
a といった b とした c という d とする
- 彼の表情(), 仕事はあまりうまく行っていないようだ。
a からといって b からという c からして d からすると
- この辺りは商店街() 閉店している店が多い。
a にしても b にしたら c といっても d といったら
- 親切のつもりでしたことでも、相手() 迷惑ということもある。
a といえば b にしては c にすれば d という
- ゆつくり会場を見て回る(), 2時間はかからないだろう。
a にしても b にしては c といえば d としたら

N2の文法形式には古い言葉を使ったものがあります。その文法形式を学習したことがなくても、元の言葉の意味がわかれば意味を類推することができます。

古い言い方	意味	文法形式	例	課題
～ず	～ない	～もかまわず	値段もかまわず買い物する。	11
		～を問わず	この仕事は男女を問わずできる。	11
		～にかかわらず	送料は重さにかかわらず200円だ。	11
		～にもかかわらず	大雨にもかかわらずたくさんの人が集まった。	14
		～ずじまいだ	連休はどこへも行かずじまいだった。	20
		～ずにはいられない	のどが渴いて水を飲まずにはいられない。	25
		～ざるを得ない	週末も働かざるを得ない。	25
べし	～なければならない	～べきだ	今できることは今するべきだ。	23
		～べきではない	女性に年齢を聞くべきではない。	23
まい	～ないだろう	～まい	よく確かめたのだから間違いはあるまい。	22
		～ではあるまいか	このままでは問題は解決しないので、はあるまいか。	22
	～ないようにしよう	～まい	こんな失敗は二度とするまい。	24
つつ	～ながら	～つつ	将来のことを考えつつ進路を決める。	2
	～ているところ	～つつある	次第に暖かくなりつつある。	2
	～けれども	～つつ(も)	危険だと知りつつ近づいた。	14
せよ	しろ	～にせよ	忙しいにせよ連絡はしなさい。	15

練習1 Aの言葉の意味と合うものをBから選んで線で結びなさい。

- | | | |
|-------|---|-------------|
| A | | B |
| ①せず | ・ | a しなければならない |
| ②するべし | ・ | b しない |
| ③するまい | ・ | c しないだろう |
| ④しつつ | ・ | d しろ |
| ⑤せよ | ・ | e しながら |

練習2 ()の中の言葉を適当な形にして、必要なら「の」を加えて 〃の上に書きなさい。

- 目の前にお年寄りが 〃 もかまわず、あの人は優先席に座って漫画を読んでいる。(立っている)
- 旅行先で帽子をなくし、方々探したが、結局 〃 じまいだった。(見つかる)
- 地震の被害を受けた人たちが、1日も早く元の生活に戻れるようにと 〃 にはいられませんか。(願う)
- 見ているだけでは状況は 〃 まい。(変わる)
- 部屋の片付けをしなればと 〃 つつ、時間がたってしまった。(思う)
- 言いたいことがあるなら、はっきり 〃 べきだ。(伝える)
- 事情が 〃 にせよ、急に仕事を辞められては困る。(ある)
- 今の実力を考えると、合格の可能性は低いと 〃 を得ないだろう。(言う)
- 県民スポーツ大会の準備は日ごとに 〃 つつある。(整う)
- この本は、内容が非常に 〃 にもかかわらず、よく整理されていてわかりやすい。(複雑な)
- 昨日の大雨で、桜はほとんど 〃 ではあるまいか。(散ってしまう)
- どんな仕事を 〃 にかかわらず、ある程度のコミュニケーション能力は必要だろう。(する)

D 「もの・こと」を使った言い方

N2の文法形式には「もの」「こと」を使った言い方が少なくありません。

「もの」が含まれる言い方は、話者が感情を込めて述べる場合によく使われます。

「こと」が含まれる言い方は、感情を強調する場合に使われるほか、いろいろな働きをします。

(*はここで初めて学習する文法形式)

	文法形式	例	課
もの	～ものか	あいつが時間どおりに来る もの か。	12
	～というものではない	安ければいい というものではない 。	12
	～ものの	高い着物を買った ものの 、着る機会がない。	14
	～とはいものの	手術は成功した とはいものの 、まだ心配だ。	
	～ものなら	やれる もの ならやってみろ。	15
	～(よ)うものなら	台風でも来よう もの なら、この小屋は壊れそうだ。	15
	～もので・ものだから	目が悪い もので 、よく見えませんでした。	16
	～もの	これは食べたくない。嫌いなんだ もの 。	16
	～ものだ	人間は本来一人では生きられない ものだ 。	23
	～というものだ	仕事を途中で投げ出すのは、無責任 というものだ 。	23
	～ものだ	人との出会いは大切にする ものだ 。	24
	～ものではない	気軽に人にお金を貸す ものではない 。	
	～ものか	あんな人とはもう一緒に仕事をする ものか 。	24
	～たいものだ	将来はこんな家に住みたい ものだ 。	26
	～てほしいものだ	今度こそ実験が成功してほしい ものだ 。	
	～ものだ	子供のころはこの川で泳いだ ものだ 。	26
	～ものだ	時間が過ぎるのは早い ものだ 。	26
	～ないもの(だろう)か	どうにかして母の病気が治らない ものか 。	26
	～ものがある	毎日遠くから通勤するのはつらい ものがある 。	26

こと	～(のこと)となると	山口さんは山の こと となると目が輝く。	13
	～ないことには	お金がない ことには 、この計画は進められない。	15
	～ことだし	雨もやんだ ことだし 、ちょっと出かけてこよう。	17
	～のことだから	みち子の こと だから、きっと合格できるだろう。	17
	～ことだ	太らないようにするには、夜遅く食べない ことだ 。	24
	～ことはない	電話で済むから、わざわざ行く ことはない 。	24
	～ことだ	いい友達がいるのはありがたい ことだ 。	26
	～ことだろう	この城を作るのに、何年かかった ことだろう 。	26
	～ことか	早く寝ろと子供に何回注意した ことか 。	
	～こと	⇒「～しなさい・～してはいけない」と指示を出す 言い方 。 ①【板書】レポートは5日までに提出すること。 ②【立て札】この池では釣りをしない こと 。 ㊦ 動 辞書形/ない形 +こと	*
	～ことなく	⇒～しないで、あることをする・ある 状態 だ。 ①夏の間も休む ことなく 、原稿を書き続けた。 ②母は何を言われても怒る ことなく 、いつもにこにこしていた。 ㊦ 動 辞書形 +ことなく	*
	～ことに	⇒ある出来事に対する話者の感想を言う。 ①不思議な ことに 、真冬なのに桜が咲いた。 ②ありがたい ことに 、両親は健在です。 ㊦ 動 た形・イ形 い・ナ形 な +ことに	*
	～ことは～が	⇒「～は事実だが」と前置きしてから、後のことを強調する。 ①この本は高い ことは高いが 、とても役に立つ。 ②あの映画は見た ことは見たが 、内容がよくわからなかった。 ㊦ 普通形 (ナ形 だ-な・名 だ-な) +ことは +普通形 +が	*
	～ということだ	⇒伝聞の 言い方	*
	～とのことだ	①このレストランでは、野菜はすべて自家製の もの を使っている ということだ 。 ②中山さんは今日来られない とのことでした 。 ㊦ 普通形 +ということだ・とのことだ	

- 1 子供のころ、よくこの公園で_____ものだ。(遊ぶ)
- 2 お客様が帰るときは、見えなくなるまで_____ものですよ。(見送る)
すぐに家の中に_____ものではありませんよ。(入る)
- 3 せっかく手に入れた宝物を、そんなに簡単に他人に_____ものか。(渡す)
- 4 大切にしていたこの皿が欠けてしまったのは_____ものがある。(残念だ)
- 5 旅行の荷物はなるべく少なくしたいとは_____ものの、いろいろ持っていきたいくなる。
(思う)
- 6 わたしは動物アレルギーで、犬や猫の近くに_____ものなら、たちまちくしゃみが出
始める。(寄る)
- 7 何にでも_____ものなら歌手になってみたい。(なる)
- 8 図書館の中では静かに_____ほしいものだ。(する)
- 9 国際化が_____とはいうものの、外国人との交流に慣れていない人は多い。(進む)
- 10 この余っている紙を何かに利用することは_____ものか。(できる)
- 11 昼ご飯は_____ことは_____が、時間がなかったのでおにぎり一つだけだ。
(食べる)
- 12 ジョギングを始めてみたが、果たしていつまで_____ことだろう。(続く)
- 13 天気も_____ことだし、散歩にでも行きませんか。(いい)
- 14 _____ことに、ケンさんは今日遅刻しないで来た。(珍しい)
- 15 実際に_____ことには、そのゲームが面白いかどうかわからない。(やってみる)
- 16 かおりさんはもう書類は全部_____とのことだ。(提出する)
- 17 好きじゃなかったら、無理に_____ことはない。(食べる)
- 18 会社の近くに住んでいたなら、どんなに通勤が_____ことか。(楽だ)
- 19 うわさが本当かどうか知りたければ、直接本人に_____ことだ。(確かめる)
- 20 名曲は、いつの時代も_____ことなく愛される。(変わる)

1 わたしはちょっとでもお酒を()、体中真っ赤になってしまう。
a 飲むものなら b 飲めるものなら
c 飲んだことだから d 飲めることには

2 このダイエット食品^{いふくひん}は、味の種類^{しゅるい}が多くておいしいので、()続けられます。
a 飽きないもので b 飽きないことで
c 飽きることなく d 飽きるものではなく

3 スキーの道具^{どうぐ}を持っていないなくても、貸してもらえますから、自分で()。
a 買わないことです b 買うことはありません
c 買わないものです d 買うものではありません

4 高い服をもったいないからと着ないでいるのは、それこそもったいない()。
a ことか b ものか c というものだ d というのだ

5 驚いた()、わたしとミキさんは生年月日^{せいねんがつび}が同じだった。
a ことに b もので c こととなると d ものがあつて

6 当時^{とうじ}はお正月には毎年家族で神社にお参り^{まいり}に行った()。
a ことがある b ことだ c ものがある d ものだ

N2の文法形式には「わけ」「ところ」を使ったものがあります。整理しておきましょう。

(*はここで初めて学習する文法形式)

文法形式	例	課
わけ	<p>～わけがない</p> <p>こんなに重い物を一人で運べるわけがない。</p> <p>12</p> <p>～わけではない</p> <p>いつでも電話に出られるわけではない。</p> <p>12</p> <p>～というわけではない</p> <p>ペンならどれでも同じというわけではない。</p> <p>～わけにはいかない</p> <p>今日は試験なので、休むわけにはいかない。</p> <p>18</p> <p>～ないわけに(は)いかない</p> <p>妹の結婚式に出席しないわけにはいかない。</p> <p>25</p> <p>～わけだ</p> <p>⇒当然そういうことになる。</p> <p>* ①そんなに残業しているんですか。それでは疲れるわけですよ。 ②会費は1人1,500円です。ということは7人で1万500円になるわけですね。 ③産地直送ですか。それで安いというわけですね。 普通形(ナ形)だ-な/-である・名だ-の/-な/-である) +わけだ 普通形(ナ形(だ)・名(だ)) +というわけだ </p>	
ところ	<p>～どころではない</p> <p>連休中も休むどころではなく、毎日残業だ。</p> <p>12</p> <p>～どころか</p> <p>部屋の中は涼しいどころか、35度もあった。</p> <p>～どころではない</p> <p>眠くて仕事どころではない。</p> <p>18</p> <p>～たところ</p> <p>メールを送ったところ、すぐに返事が来た。</p> <p>20</p> <p>～ところだった</p> <p>もう少しで車にぶつかるところだった。</p> <p>20</p> <p>～ところから</p> <p>⇒ある出来事の直接の原因や、判断や決定の根拠を言う。</p> <p>* ①この木は雪がかかったように花が咲くところから、「雪柳」という名前がついた。 ②同じ町の出身だとわかったことから、彼女と親しくなった。 ③顔がとてもよく似ていることから、二人は兄弟だとすぐにわかった。 普通形(ナ形)だ-な/-である・名だ-である) +ところから・ことから </p>	



練習1 適当なものを選びなさい。

- 日本で就職活動をしなければならないので、今年の夏は国へ()。
 - 帰るわけにはいかない
 - 帰らないわけにはいかない
 - 帰るわけではない
 - 帰らないわけではない
- 普段は外食が多いが、料理が()。忙しいのだ。
 - できるわけにはいかない
 - できないわけにはいかない
 - できるわけではない
 - できないわけではない
- ダイエットを始めたが、やせる()逆に太ってしまった。
 - ところが
 - どころか
 - ところで
 - どころで
- 新聞の広告を見てさっそく商品を注文した()、すぐに商品が送られてきた。
 - ところで
 - ところを
 - ところ
 - ところが
- 子供の時に1度会っただけの人の顔を()。
 - 覚えているわけにはいかない
 - 覚えているわけがない
 - 覚えていないわけではない
 - 覚えていないわけだ
- 駅にあと1分遅く着いたら、電車に()。
 - 乗れないところだった
 - 乗れるどころではなかった
 - 乗れないわけだった
 - 乗れるわけではなかった

練習2 「ところ」か「どころ」か「わけ」を____の上書きなさい。

- 前にその本を買ったことをすっかり忘れて、もう一冊買ってしまっただった。
- 今は働いていないが、働きたくない____ではない。
- バスはすいている____か、超満員だった。
- 琵琶湖の名は、形が琵琶という楽器に似ている____からつけられた。
- 飛行機は朝早いですが、眠ければ機内で寝てしまえばいい____ですから、大丈夫です。
- このココア、そんなに砂糖が入っているんですか。道理で甘い____だ。

N2の文法形式には、同じ言葉、対になる言葉を2回重ねて言う表現があります。同じ言葉を重ねるのは、主に例を挙げるものです。また、特別な使い方の助詞も整理しましょう。

(*はここで初めて学習する文法形式)

文法形式	例	課
～やら～やら	四角いものや丸いものやいろいろな形の皿がある。	10
～というか～というか	このクラスはうるさいというかにぎやかというか……。	10
～にしても～にしても ～にしろ～にしろ ～にせよ～にせよ	野菜にしても魚にしても、材料は新鮮なほうがいい。 入院するにしろ通院するにしろ、お金がかかるだろう。 与党にせよ野党にせよ、リーダーは責任が重い。	10
～だの～だの	⇒うんざりというニュアンスで例を挙げる。【話し言葉】 ①弟の部屋は、紙くずだの空きかんだのでいっぱい。 ②隣のうちの人は、ごみの出し方が悪いだの夜の洗濯はだめだの、文句ばかり言う。 名・普通形(ナ形) + だの	*
～か～ないかのうちに	夜が明けたか明けないうちに家を出た。	1
～(よ)うか～まいか	旅行に行こうか行くまいか迷っている。	24

助詞	文法形式	例	課
とは	～とは	留学とは外国で勉強することだ。	13
ぐらい・くらい	～ぐらい・～くらい	わからない言葉ぐらい調べてきなさい。	21
など・なんか・なんて	～など・～なんか・～なんて	医者になんかならなければよかった。	21
まで	～まで・～までして	この山小屋には電子レンジまである。 借金までして車を買うんですか。	21
として	～として～ない	この寒さには1日として我慢できない。	21
さえ	～さえ	のどが痛くておかゆさえ食べられない。 お金さえあれば、この困難を乗り越えられる。	21
のみ	～のみ	⇒限定を表す。【硬い言い方】 ①ここから先は、関係者のみ入場可とする。 ②土日のみのアルバイトを探している。 名 + のみ	*

練習1 〇から最も適当な言い方を選び、()の中の言葉を適当な形にして、〇の上に書きなさい。

～か～ないかのうちに ～(よ)うか～まいか ～やら～やら
～というか～というか ～にしても～にしても ～だの～だの

- この作家の文章は〇、とにかく深刻であることは確かだ。
(重い・暗い)
- 弟は毎朝〇と言って、なかなか起きようとしなない。
(頭が痛い・おなかが痛い)
- 引越したばかりで、〇買わなければならない
ものがいろいろある。
(カーテン・机)
- 〇、映画を見るのは楽しい。
(映画館で見る・DVDで見る)
- 〇、メールの返事が来た。(5分たつ・たたない)
- 少し高そうな店だったので、〇しばらく中の様子を
のぞきながら考えていた。
(入る・入らない)

練習2 〇から適当なものを選び、〇の上に書きなさい。
(一つの言葉を1回だけ使います。)

とは ぐらい など のみ まで さえ として

- 交通の便〇よければ、この町はもっと観光客が増えると思うのですが……。
- 【注意書き】こちらの商品のご注文は、お一人様1点〇とさせていただきます。
- 大雨が降ると聞いて長靴〇履いていったが、午後は晴れた。
- 小学校に上がる前に、自分の名前〇は読み書きできたほうがいい。
- わたしはうそ〇言っていない。全部本当のことだ。
- 一生の仕事〇どういことかをよく考えて、会社を辞めた。
- このボタンは手作りなので、全く同じものは一つ〇ない。

N2の文法形式は、それぞれに文法的性質を持っていて、文を作るときに制約になります。
以下のような文法的性質に気をつけながら学習しましょう。

① 事実が気持ちが入っているか

a) 後に話者の希望・意向を表す文や働きかけの文が来る

～次第(3課) ～ものなら(15課) ～からには・～以上は・～上は(17課)

～ことだし(17課) ～てでも(21課)

b) 後に話者の希望・意向を表す文や働きかけの文は来ない

～たとたん(に)(1課) ～(か)と思うと・～(か)と思ったら(1課)

～か～ないかのうちに(1課) ～もかまわず(11課) ～にもかかわらず(14課)

～ものの・～とはいうものの(14課) ～とすると・～となると(15課) ～ものだから(16課)

～おかげだ／～せいだ(16課) ～あまり・あまりの～に(16課) ～だけに(17課)

～ばかりに(17課) ～たところ(20課) ～ぎり(20課)

c) 後に推量の文が来る

～(よ)うものなら(15課) ～のことだから(17課)

② 自分か他者か

a) 一人称が主語の文で使う

～わけにはいかない(18課) ～てしかたがない(25課) ～てならない(25課)

～ないではいられない・～ずにはいられない(25課) ～ないわけに(は)いかない(25課)

～ざるを得ない(25課) ～たいものだ(26課)

b) 三人称が主語の文で使う

～(か)と思うと・～(か)と思ったら(1課) ～とみえる(22課)

③ プラスイメージかマイナスイメージか

a) 後に主にマイナスイメージの文が来る、または全体としてマイナスイメージの文になる

～ばかりだ・～一方だ(2課) ～せいだ(16課) ～ばかりに(17課)

～どころではない(18課) ～あげく(20課) ～ずじまいだ(20課) ～かねない(22課)

～おそれがある(22課) ～てならない(25課)

b) 後に主にプラスイメージの文が来る、または全体としてプラスイメージの文になる

～にかけては(7課) ～おかげだ(16課) ～だけ(のことは)ある(19課)

練習1 どちらが適当な方を選びなさい。

- 詳しい情報が入り次第、
a お知らせいたします。
b 関係者が知らせてくれた。
- 手術を避けられるものなら
a 避けたいのだが、そうはいかないだろう。
b ほかの治療方法があるのではないか。
- 山川先生が病氣だと聞いたからには
a ぜひお見舞いに行かなくては。
b あしたお見舞いに行くことにした。
- 夕立がやんだかと思ったら、
a すぐに工事を再開しよう。
b もう太陽が出てきた。
- a 営業の仕事が忙しいので、人目もかまわずバスの中で昼ご飯を食べようと思う。
b 営業の仕事が忙しらしく、彼は人目もかまわずバスの中で昼ご飯を食べている。
- 年末は道路が渋滞するものだから、
a ふるさとへは電車で行きなさい。
b ふるさとへは電車で行くことにした。
- いつもとは違うコースをドライブしてみたところ、
a 珍しい景色を楽しみましょう。
b 珍しい景色に出会えた。
- 泣いている子供を見て、
a 母は声をかけずにはいられなかった。
b わたしは声をかけずにはいられなかった。
- a わたしもこんなすばらしい花の庭を作ってみたいものだ。
b 花子さんもこんなすばらしい花の庭を作ってみたいものらしい。
- a 玄関のチャイムが鳴ったかと思うと、大勢のお客さんが入ってきた。
b 今日はとても眠かった。夕食を食べ終わったかと思うとすぐ寝てしまった。
- a わたしはどうも風邪を引いたとみえる。熱がある。
b あの人は風邪を引いているとみえる。さつきからせきばかりしている。
- この報告書だと、また課長に
a 文句を言われかねない。
b ほめられかねない。
- 右手の指にけがをしたばかりに、
a パソコンをいつもの速さで打てなかった。
b まゆみさんが親切に包帯を巻いてくれた。
- 夜、コーヒーを1杯飲んだばかりに、
a 明け方まで眠れなかった。
b 明け方まで試験勉強がよくできた。